

食品の官能評価の基礎と手順・手法の勘所

講師：跡部 昌彦氏

跡部技術士事務所（技術士（農業・総合技術監理部門））

官能評価は、特段の勉強をしなくとも、誰でも簡単にできると思われがちですが、信頼性あるデータを出すためには、それなりの勉強が必要で、先人たちの官能評価事例からも学ぶ必要があります。私は「官能評価は高度な専門技術」と考えています。本セミナーでは評価事例を盛り込みながら、食品の味覚・嗅覚を中心とした官能評価の基本と、進め方をお話させていただきます。

【経歴】1959年 ポッカレモン(株) (現 ポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)) 入社以降、清涼飲料水や粉末・乾燥食品、レトルト食品、健康食品などの商品開発、食品素材開発、食品加工技術、食品機能研究、おいしさ評価のほか、研究開発マネジメント業務を担当 2009年 味の科学研究所 所長 2015年 研究開発本部 シニアマネージャー 2016年 定年退職、引き続き嘱託社員（技術顧問）として勤務 2017年 跡部技術士事務所を開業 2018年 ポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)を雇用期間満了で退職【活動】・技術士（農業部門、総合技術監理部門）・公益社団法人日本技術士会 登録グループ 食品技術士センター 副会長・大同大学 工学部 建築学科 かおりデザイン専攻 客員教授・一般社団法人おいしさの科学研究所 特別顧問

開催日時	2024年1月24日（水）10:30~16:30	※本セミナーは、当日ビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。推奨環境は当該ツールをご参照ください。後日、視聴用のURLを別途メールにてご連絡いたします。 詳細は裏面をご覧ください。
受講料	55,000円（税込）※資料付 *メルマガ登録者 49,500円（税込） *アカデミック価格 26,400円（税込）	

*アカデミック価格：学校教育法にて規定された国、地方公共団体、および学校法人格を有する大学、大学院の教員、学生に限りです。

★【メルマガ会員特典】2名以上同時申込かつ申込者全員がメルマガ会員登録していただいた場合、1名あたりの参加費がメルマガ会員価格の半額となります★【対象者】各企業の研究者・技術者、品質管理担当者、商品開発・企画担当者・食品の官能評価を行っている方、行い始めた方、今後その予定がある方など*食品業界以外の方の受講も可能ですが、対象物は食品に限ります。★【得られる知識】・食品の官能評価の基本・食品の官能評価（分析官能評価を中心に）の進め方・食品分野での官能評価の事例・官能評価の商品開発や品質管理（食品分野）への応用

【本セミナーのプログラム】

※適宜休憩が入ります。

1. 官能評価の基本

1-1 官能評価の基礎知識 1-2 分析型官能評価と嗜好型官能評価

1-3 分析型官能評価で大切なこと

2. 分析型官能評価の流れ

2-1 官能評価の手順 2-2 官能評価の目的の明確化 2-3 官能評価の進め方のポイント

3. 分析型官能評価パネルの選定

3-1 官能能力試験によるパネルの選定 3-2 官能評価パネルの区分け 3-3 官能評価パネルに必要な要件 3-4 社外パネルと社内パネル

4. 分析型官能評価パネルの訓練・育成

4-1 官能能力試験に合格するための訓練 4-2 官能能力試験合格者へのパネル委託 4-3 官能能力試験合格後の育成 4-4 味覚・嗅覚トレーニングキット 4-5 官能能力パネルの維持・管理

5. 分析型官能評価の実施ルール

5-1 官能評価パネルの選定 5-2 官能評価法の選定 5-3 官能評価試料の調整 5-4 官能評価日時の設定 5-5 官能評価に及ぼす心理的影響 5-6 試料の提示技法

6. 官能評価の環境

6-1 官能評価室に求められる条件 6-2 官能評価室の構築方法

7. 分析型官能評価の手法「識別評価」

7-1 2点識別試験の特徴と留意点 7-2 3点識別試験の特徴と留意

点 7-3 1対2点識別試験の特徴と留意点 7-4 その他の識別試験 7-5 評価事例の紹介

8. 分析型官能評価の手法 「定量化・尺度法」

8-1 定量化・尺度法の具体的方法と留意点 8-2 評価事例の紹介

9. 分析型官能評価の手法 「特性プロファイル法」

9-1 特性プロファイル法の特徴と留意点 9-2 官能評価用語の整理

9-3 QDA法の基本的な考え方 9-4 TI法、TDS法、CATA法、TCATA法の特徴 9-5 官能評価ソフトの概要 9-6 評価事例の紹介

10. 官能評価データの解析 10-1 統計解析ソフトの紹介

11. 異臭検出

11-1 異臭とオフフレーバー 11-2 異臭識別試験の方法と留意点

12. 嗜好型官能評価

12-1 嗜好型官能評価の進め方 12-2 アンケート調査

13. 官能評価の裏付け

13-1 官能評価の裏付けとは 13-2 機器分析 13-3 生体計測

14. おわりに

14-1 日本官能評価学会 14-2 参考文献 14-3 官能評価のISOとJIS

弊社記入欄		ウェビナー申込書	
セミナー名	食品の官能評価の基礎と手順・手法の勘所		
所定の事項にご記入下さい	会社名（団体名）	TEL :	
メルマガ会員、登録希望の場合は○↓	住所 〒	FAX :	
		E-mail :	
会員登録済み	新規登録希望	部署	役職
		氏名	
お支払方法	銀行振込 ・ その他	お支払予定	202 年 月 日頃

■申込方法：セミナー申込書にご記入の上 FAX または E-mail (order_7053@cmcre.com) でお申し込みください。

■セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりません、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

■申込先：(株)シーエムシー・リサーチ 東京都千代田区神田錦町2-7 TEL 03-3293-7053

■本セミナーの関連情報は、弊社HPでもご覧になれます。⇒ <https://cmcre.com>

参加申込 FAX 番号
03-3291-5789

2024年1月24日（水）開催

食品の官能評価の基礎と手順・手法の勘所

講師：跡部 昌彦氏

跡部技術士事務所（技術士（農業・総合技術監理部門））

当該セミナーは、**ライブ配信のウェビナー（オンラインセミナー）**です！

【ライブ配信対応セミナー】

- 本セミナーはビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。お申し込み前に、下記 URL より視聴環境をご確認ください。
→ <https://zoom.us/test>
- 当日はリアルタイムで講師へのご質問も可能です。
- タブレットやスマートフォンでも視聴できます。
- お手元の PC 等にカメラ、マイク等がなくてもご視聴いただけます。この場合、音声での質問はできませんが、チャット機能、Q&A 機能はご利用いただけます。
- ただし、セミナー中の質問形式や講師との個別のやり取りは講師の判断によります。ご了承ください。
- 「Zoom」についてはこちら↓をご参照ください。

<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>

【お申込み後の流れ】

- 開催前日までに、ウェビナー事前登録用のメールをお送りいたします。お手数ですがお名前とメールアドレスのご登録をお願いいたします。
- 事前登録完了後、ウェビナー参加用 URL をお送りいたします。
- セミナー開催日時に、参加用 URL よりログインいただき、ご視聴ください。
- 講師に了解を得た場合には資料を PDF で配布いたしますが、参加者のみのご利用に限定いたします。他の方への転送、WEB への掲載などは固く禁じます。
- 資料を冊子で配布する場合は、事前にご登録のご住所に発送いたします。開催日時に間に合わない場合には、後日お送りするなどの方法で対応いたします。

【注意事項】

- 本セミナーの受講にあたっての推奨環境は「Zoom」に依存します。受講者の方のお手元の PC などの設定や通信環境が受信の状況に大きく影響いたしますので、ご自分の環境が対応しているか、お申し込み前の確認をお勧めいたします。

<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC->

[MacLinux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6](https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC-MacLinux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6)

- Zoom クライアントは最新版にアップデートして使用してください。
- インターネット経由でのライブ中継ですので、回線状態などにより、画像や音声が乱れる場合があります。また、状況によっては、講義を中断し、再接続して再開する場合がありますが、予めご了承ください。
- 万が一、当社や講師側（開催側）のインターネット回線状況や設備機材の不具合により、開催を中止した場合には、受講料の返金や、状況により後日録画を提供すること等で対応させていただきます。
- 本セミナーはお申し込みいただいた方のみ受講いただけます。
複数端末から同時に視聴することや複数人での視聴は禁止いたします。
- 受講中の録音・撮影等は固く禁じます。
- Zoom のグループにパスワードを設定しています。お申込者以外の参加を防ぐため、パスワードを外部に漏洩しないでください。
万が一外部者が侵入した場合は管理者側で部外者の退出あるいはセミナーを終了いたします。